

年間指導計画表(シラバス)

科目名	国際理解・フランス語	単位数	1単位
		学年等	普通科国際コミュニケーションコース 2年生

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>フランス語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語科の定める「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。</p> <p>(1)聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(2)読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(3)話すこと[やりとり]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(4)話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(5)書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
-------------	--

使用教科書 副教材等	(1)inspire 1 (A1 cahier d'activités) (Hachette FLE) (2)仏和辞典 (3)自主作成プリント
---------------	---

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	フランス語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用し、目的や場面、状況などに応じて情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、フランス語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したことを元に、適切に伝えている。	フランス語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的にフランス語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。
評価点	600点	600点	600点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	inspire 1 Unit 10~14	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点
後期	inspire 1 Unit 15~19	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	学習内容 (1)inspire 1 Unit 10~14	18
	5	(2)自主作成プリント 学習のねらい	
	6	(1)基本となる30の動詞の活用を学ぶ。 (2)助詞の近接未来形の意味を理解し、活用を学ぶ。	
	7	(3)総合テストを行い、学習内容を習得する。	
	8		
	9	◆-----第2回考査	
後期	10	学習内容 (1)inspire 1 Unit 15~19	17
	11	(2)自主作成プリント 学習のねらい	
	12	(1)基本となる10個の前置詞を習得し、空間的に位置づけながら語る表現を学ぶ。 (2)動詞の複合過去形の意味を理解し、活用を学ぶ。	
	1	(3)道順を尋ね、教える表現を学ぶ。 (4)一年間の学習事項の再確認をする。	
	2		
	3	◆-----第4回考査	

5 その他

○定期考査は、第2回と第4回のみ実施します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	国際理解・中国語	単位数	1単位
		学年等	普通科国際コミュニケーションコース 2年生

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>中国語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語科の定める「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。</p> <p>(1)聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(2)読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(3)話すこと[やりとり]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(4)話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(5)書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
-------------	--

使用教科書 副教材等	新・高校版 中国語はじめの一步(白水社) 自作プリント
---------------	--------------------------------

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用し、目的や場面、状況などに応じて情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、中国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したことを元に、適切に伝えている。	中国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。
評価点	600点	600点	600点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	単語を覚え、日常会話をしながら、聞き取りと会話能力を高めていく。	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点
後期	簡単なコミュニケーションができ、簡単な文が作れるようにする。	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	学習内容	18
	5	単語を覚え、日常会話をしながら、聞き取りと会話能力を高めていく。	
	6	学習のねらい 年月日・曜日・年などの言い方と使い方、名詞述語文、省略疑問文を学習する。 助数詞・時刻・金額などの言い方と使い方、所有・存在の表現を学習する。	
	7		
	8		
	9	◆-----第2回考査	
後期	10	学習内容	17
	11	簡単なコミュニケーションができ、簡単な文が作れるようにする。	
	12	学習のねらい 方位詞の使い方・主述述語文を学習する。	
	1	完了の「了」の使い方、量詞のまとめ、過去の経験の使い方、願望の言い方を学習する。 まとめ、総合練習を行う。	
	2		
	3	◆-----第4回考査	

5 その他

○定期考査は、第2回と第4回のみ実施します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	国際理解・韓国・朝鮮語	単位数	1単位
		学年等	普通科国際コミュニケーションコース 2年生

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>韓国・朝鮮語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語科の定める「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。</p> <p>(1)聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(2)読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(3)話すこと[やりとり]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(4)話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(5)書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
-------------	---

使用教科書 副教材等	(1)한국어 1・韓国語1(TWO PONDS [주] 문 진 미 디 어) (2)自主作成教材
---------------	---

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	韓国・朝鮮語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用し、目的や場面、状況などに応じて情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、韓国・朝鮮語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したことを元に、適切に伝えている。	韓国・朝鮮語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に韓国・朝鮮語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。
評価点	600点	600点	600点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	TWO PONDS1 第11課～第16課	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点
後期	一年間で学んだ内容を総合的に練習する。	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	学習内容 (1)TWO PONDS1	18
	5	11課 電話 12 課 お店 13 課 食堂 14課 交通手段 15課 バスの停留所 16課 招待	
	6	(2)自主作成プリント 学習のねらい	
	7	授業を通して、韓国・朝鮮の文化や社会に対する基本的な知識を身につける。	
	8		
	9	◆.....第2回考査	
後期	10	学習内容 1年間で学んだ内容を総合的に練習する。	17
	11	学習のねらい 総合的に練習する。	
	12	寸劇を通して会話力を高める。 スキット①「体育の時間」	
	1	スキット②「ラーメンといえばキムチでしょう」 スキット③「トッポッキ友だち」	
	2		
3	◆.....第4回考査		

5 その他

○定期考査は、第 2 回と第 4 回のみ実施します。